
コミュニティ・スクールだより

令和8年9月号

『地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎』 「学び合う子」
(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎

第3回学校運営協議会が、7月7日に菊川西中学校で開催されました。まず赤堀教育長から菊川市が目指すコミュニティ・スクールについて説明がありました。それを踏まえて、今後菊西学舎の学校運営協議会をどのように持っていけばよいか、協議をしました。

昨年度は小中学校ごとに話し合いを行いその中から学舎に広められるものを探っていこうとしましたが、なかなか学舎としての方向性は見出せませんでした。今回教育長から学舎の学校運営協議会であるから、学舎として共通的な統一的な取り組みを協議していったほしいという話がありました。そこで何とかその方向に持っていけないか考えました。

学校運営協議会の取組がなかなかスムーズにいかず、試行錯誤しながらですが、子どもたちの中学校卒業時にめざす姿に向けて、学舎としてこんなことをしてみたらどうかという意見を出し合っていけるようにしたいと考えています。いきなり大きな目標を掲げていくのではなく、まずは何か1つ小さなことから取り組んでいきたいと思えます。

学舎内各小中学校
現状と課題

学舎として
何をどうしていくか

菊西学舎としての取組へ
共通的な統一的な

小中合同研修会

6月3日台風接近のため中止となった菊西学舎教職員の小中合同研修会が、7月29日に菊川西中学校で開催されました。初めに校内テレビで全体会を行い、学舎コミュニティ・スクールと菊西学舎の運営について話がありました。そのあとは教務部、研修・学習部、生徒指導部、特別支援部の4つに分かれて協議しました。

今年度から組織と部構成を一部変更し、4つの部には総括役として各校の教頭に入ってもらい、その年代までに育てたい子どもの姿や年間の活動計画について協議しました。

2学期以降各部の取組が各校で実施されていきます。

各校にはそれぞれの実態や取組、特徴、伝統、地域性がありますが、菊川西中学校に入学する時までには、どこの小学校でも同じような取組や活動がなされていて、ギャップや違和感がなくスムーズに中学校生活に入っていけるようにしたいというのが、菊西学舎という大きなスパンで行う、小中合同研修会の大きな狙いとなります。

【学びの庭】 横地小5年生との交流 内田小5年生



多くの人と関わる機会をもち、中学校で一緒に学ぶ人たちと交流することができるようにと、内田小の5年生が横地小に行って、活動を共にしました。学校紹介、ドッジボール、名刺交換等を行いました。活動が進むにしたがって、笑顔が増え盛り上がっていました。この日の交流が中学校入学時に、知っている顔の子がいて、不安をやわらげてくれることでしょう。

【学びの庭】 建具職人 佐次本さん 横地小5年生

技能マイスターで建具職人の佐次本さんが出前講座を行ってくれました。「麻の葉の組子」の制作をしました。子どもたちは、「うわ、すごい。」「気持ちいい。」と歓声を上げていました。

佐次本さんからは組子のことだけでなく、夢にどう向き合ったらよいかというお話もいただき、子どもたちは体験を通して学んだことがたくさんありました。



【学びの庭】 クミアイ化学出前講座 加茂小5年生



本市加茂に生物化学研究所があるクミアイ化学工業の出前講座が7月16日に行われました。お米や農作物の病気や害虫、農薬の働きなどについて、話をさせていただきました。稲につく虫を実際に観察したり、水の中で動く農薬の実験をしたりしました。安全で安心な農薬の開発に向け取り組んでいることがわかりました。

【学びの庭】 校庭の樹木をきれいに 堀之内小

子どもの御家族の方と有志の方が、校庭の樹木の手入れをしてくださいました。なかなか手の回りきらない校庭の樹木を、すっきりきれいにしてくださいました。きれいになった校庭で、子どもたちは飛び回っています。



【学びの庭】 合同部活 バス運行 菊川西中



菊川市では市内中学校の合同部活の取組を進めています。8月5日、6日の2日間合同部活に所属する生徒の移動や保護者の送迎の負担軽減を目指して、試験的にバスの運行を行いました。菊川東中、菊川西中の野球部やバスケット部などの子ども24人を乗せて、岳洋中学校へ行きました。今回の取組を踏まえて今後につなげていきます。